

製品名: Drosha (18P9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10163**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:200-1:500
分子量	159kDa

抗原情報

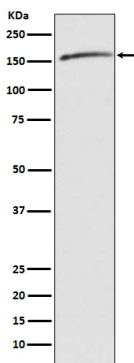
遺伝子名	DROSHA
別名	Ribonuclease 3 (EC:3.1.26.3); Protein Drosha; Ribonuclease III; RNase III; p241; DROSHA; RN3; RNASE3L; RNASEN;
遺伝子 ID	29102.0
SwissProt ID	Q9NRR4
免疫原	ヒト DROSHA の組み換えタンパク質

背景

Drosha は、マイクロ RNA (miRNA) プロセシングの初期段階を触媒する核 RNase III として同定されました。この酵素は、長い一次転写産物である pri-miRNA をステムループ型の pre-miRNA へと処理します。Drosha の阻害は、pri-miRNA の増加と pre-miRNA の減少をもたらします。Drosha は、DGCR8 などの他の構成要素とともに、マイクロプロセッサと呼ばれる多タンパク質複合体に存在します。Drosha は、DGCR8 とともに、miRNA の生合成に不可欠です。リボヌクレアーゼ III は、マイクロ RNA (miRNA) 生合成の初期段階に関与する二本鎖 (ds) RNA 特異的エンドリボヌクレアーゼです。一次 miRNA 転写産物 (pri-miRNA) を処理して核内で前駆体 miRNA (pre-miRNA) を放出するために必要なマイクロプロセッサ複合体の構成要素です。マイクロプロセッサ複合体内で、DROSHA はプリ miRNA (dsRNA-ssRNA 接合部から 11bp 離れた処理中心) のステムループの 3'鎖と 5'鎖を切断し、ヘアピン型の pre-miRNA を放出します。pre-miRNA はその後、細胞質 DICER によって切断され、成熟 miRNA を生成します。pre-rRNA の処理にも関与しています。二本鎖 RNA を切断しますが、一本鎖 RNA は切断しません。GW ボディの形成に関与しています。

研究分野

画像データ



293 細胞溶解物における Drosha 発現のウェスタン プロット分析。